



UIJターンへの施策と 環境問題について

権田 昌弘 議員



質問 転入される方に対し行っているサービスはどのようなものがあるのか。

答 UIターン支援奨励金、移住定住促進通勤支援金、本社機能誘致移住奨励金などがあります。

質問 若い世代が魅力を感ずる新しい分野での企業を誘致する考えはあるのか。

答 UIJターンにもつながるような企業を積極的に誘致していきます。

質問 電車通勤の補助があるのであれば、自動車の補助もあるべきだと思いが、検討する考えはあるのか。

答 移住定住やUIJターンを促進するため、自動車補助も含め、関係部署と

連携を図り研究します。

質問 条件付や給付型等の奨学金制度を見直す考えは。

答 限られた予算を考慮のうえ研究していきます。



要望 UIJターンを考えるなら、学生や親の負担を減らし、本市のためにもなる条件付の制度が有効と思っております。知恵を出し

進めていただきたい。

質問 今や電子マネーが当たり前の時代であるが、今後、市民課等の窓口にて導入する考えはあるのか。

答 利便性は高くなりませんが歳入減少という課題があり、今後の手数料や国の取組等を注視していきます。

要望 現金か電子マネーの選択も可能でありメリットはある。時代の変化に早く対応することがUIJターンにもつながるものであり、導入を強く要望します。

質問 ごみを減らすために教育の中で意識を高める工夫をする考えはあるのか。

答 体験学習やゲーム等を通じて、今後とも環境教育に取り組んでいきます。

質問 ごみ分別アプリを進めていく考えはあるのか。

答 10月からの導入に向けて予算を計上しています。

質問 ごみの夜間収集についてどのように考えるか。

答 利便性、環境性、経済性のバランスを考慮した処理システムを研究します。



ごみの減量化問題について問う

斉藤 貢一 議員



質問 ごみステーションについて伺いますが、最終管理者は誰になるのか。

答 要綱では、設置及び管理への協力と利用者による清潔保持を市民の責務と定めており、最終責任者は、設置申請者である行政区と認識しています。

質問 「協力」には、市民

同士の協力と、行政と市民の協力という二つの考えがあります。私は後者の方だと理解しています。その上で、ごみステーションの美観や動物等による散乱を防ぐためにも、補助金要綱を制定し、統一性や外観、機能を重視したごみステーションづくりを進める考え

はあのか。

答 用地の確保を含め、あり方や基準について調査研究していきます。

質問 要介護者や高齢者に対するごみ出し支援については、どのように考えているのか。

答 環境省で、ごみ出し支援における課題抽出のためのモデル事業を行っており、市町村向けガイドラインが作成される予定です。福祉分野とも連携しながら検討したいと考えます。

はあのか。

はあのか。

はあのか。

質問 処理金額の減免も含めて、検討していただければと思います。次にごみの有料化について伺います。本市では色々な変遷を経て、100kgを超えて持ち込んだ場合に有料となる一部有料制となっています。ごみの総量の減少量は、200kgの上限を変更したことに

より、持込み量が減った量と同等です。このように有料化は減量化に有効ですが、ごみ袋の有料化と合わせて、今後の方針を伺います。

質問 世界的には、高校生

の環境活動家が現れ、国連サミットにおいても、循環型社会形成を重視した目標が採択されました。ぜひ、子どもたちに、ごみ減量化等を環境問題として実践、発表する機会を与えていただきたいと思います。